

<報道関係各位>

2020年12月29日
株式会社タスカジ

【タスカジ調査】コロナの影響での家事負担増は、いまだ半数以上。

「家事の状況・イエナカ」に関する実態調査

～コロナ感染拡大からもうすぐ1年。

家の中の環境改善のために、整理収納への興味関心は約71%～

シェアリングエコノミーの家事代行マッチングプラットフォーム「タスカジ」を運営する、株式会社タスカジ（本社：東京都港区、代表取締役：和田幸子、以下タスカジ）は、コロナ禍における現在の家事の状況や家に対する意識の変化を調査するため、タスカジユーザーを対象に「家事の状況、イエナカ時間についての実態調査」（タスカジ研究所調べ）を実施しました。

■サマリー（アンケート詳細は、4ページ以降の別紙1にて）

<家事の負担状況について>

・「新型コロナウイルス感染拡大以前との日常」と現在を比較すると、**57.6%の人が「以前より家事負担は大きくなった」と回答**。その理由としては、**在宅時間が増えたことが、直接的に家事負担の増加にも繋がっている**。また、**2020年6月に実施した同様のアンケートと比べたところ、負担が大きくなったと感じている人は約7ポイント増加している**。

・特に負担を感じる家事としては、**第1位は「料理」で47.3%**、続いて「掃除」23.9%、「片付け」22.6%。料理に負担を感じる理由としては、「**昼食の準備**」「**料理回数が増えることによる買い物や洗い物が増えた**」との回答が多く見られた。

・負担に感じている家事をどのように解消しているかの質問に対しては、**第1位「家事代行に依頼している」で37.9%**、第2位は「家事に優先順位をつけて『しないこと』を作る」で30.0%、第3位が「家族で分担している」で27.2%だった。一方で、**35.0%もの人が「解消できていない（解決方法が見つかっていない）」と回答**。コロナ禍で家事負担が大きくなっている家庭が半数以上いる中で、さらに現在の状況が長期化すると、家庭の負担や疲労は大変大きいものになっていくと考えられる。

<家の中の環境について>

・**84.4%の人が、「イエナカ時間を通して、現在自分の家の中をもっといい環境にしたいという思いが湧いている」と回答したが、6月時と比べて約6ポイント下がった**。

・**約99%もの人が、「家の中をもっといい環境にするための取り組み」に興味をもっており**、その中の44.7%の人が心地よい生活を送るために、実際に取り組みを実践している。**6月時のアンケートと比べたところ、今回の「取り組みをしている」の回答は約7ポイント下がった**。原因の一つとして、**在宅時間は長いままとはいえ、仕事や日常生活が忙しくなり、心地よい生活環境を求めているもなかなか着手できない人が増えているのではと推測する**。

・家の中の環境をより良くするために取り組んでいること・興味があることとして、**第1位は「部屋や収納スペースの片付け・整理収納」で71.1%**。続いて2位は「今まで手をつけなかった場所の掃除」で49.3%、3位は「家事代行の利用」で44.1%、4位は「家や家事に関連する書籍やSNSを見る」の39.3%。**整理収納関連に対する興味関心が大きく、また取り組みたいことがより明確になってきている人が増えていると推測する**。掃除・片付けは、本・SNS・You Tube・WEBサイトなど、さまざまな情報をチェックして実践する人が多く見られた。

<年末年始の過ごし方について>

・2020年～2021年の年末年始の過ごし方は、「自宅で過ごす」と回答した人が**70.4%**（2020年12月前半時点）。

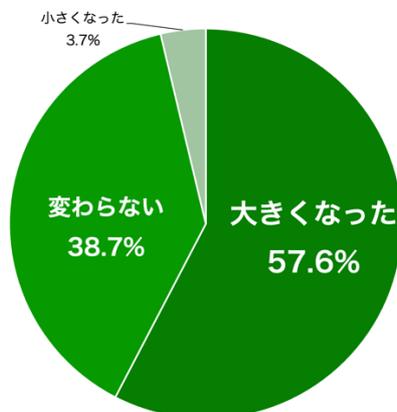
・自宅での過ごし方としては、「特別なことをせずにゆっくり過ごす」が71.3%。また、「いつもの休日と変わらない家事をする」が33.7%、「家族で遊ぶ」が33.1%。

また、「おせち料理や正月料理などを購入する」「おせち料理や正月料理を作る」など、自宅で正月を迎えるための準備をするという回答や、片付け・整理収納の回答も多く見られた。

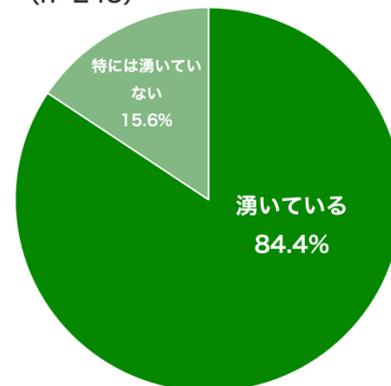
<アンケート 一部抜粋>



Q. 「新型コロナウイルス感染拡大前」の日常と比べて、現在の『家事の負担』は大きくなったと感じますか？ (n=243)



Q. 2020年の「イエナカ時間」を通して、現在、自分の家の中をもっといい環境にしたいという思いが湧いていますか？ (n=243)



<調査概要>

- 調査名：2020年12月家事の状況・イエナカ時間についての実態調査（タスカジ研究所調べ）
- 実査時期：2020年12月4日（金）～2020年12月7日（月）
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：タスカジユーザー 20～80代の男女
- 回答者数：243名

■背景

2020年5月（*1）と6月（*2）に当社の「タスカジ研究所」がおこなったユーザー調査では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、家庭の家事負担が大きくなったと感じたり、外出自粛の「イエナカ時間」を通じて自分の家の中をもっといい環境にしたいという思いが湧いてきたと感じる人が多数いるなど、コロナ禍での家事の状況や生活環境に対する意識について調査し、発表しました。

それから約半年が経ち、依然としてコロナの影響を受けた生活が続いています。そうした中で、現在の家事の状況や生活に対する意識など、どのように変化したり何を課題としているのかについて、調査を実施いたしました。

（*1）出典：2020年5月タスカジ「『イエナカ時間・家事の状況』についての実態調査」

<https://corp.taskaji.jp/news/2020/05/01/survey2/>

（*2）出典：2020年6月タスカジ「緊急事態宣言解除後の『家事の状況・イエナカ』に関する実態調査」

<https://corp.taskaji.jp/news/2020/06/19/survey3/>

<キャンペーン実施>

【お年玉キャンペーン】1月実施の初回スポット依頼が『3000円OFF』！
 ～2021年1月28日（木）まで ※1月実施分の依頼にご利用いただけます。
 詳細はこちら：<https://corp.taskaji.jp/news/2020/12/28/2021otoshidama/>

<タスカジブートキャンプ>

年々年始の”おこもり正月”を充実させるために、増回して『年々年始プログラム』を開催します！

年末開催プログラム

■2020年12月31日（木）13:00-14:00

【お正月のごちそう準備】

京風お雑煮セット(下準備まで)、炊飯器 de お煮しめ、
 黒豆、レーズン入りりんごきんとん
 ※材料購入等事前準備が必要です。



タスカジブートキャンプ
 年々年始プログラム
 ①12月31日(木) 13:00～14:00
 【お正月のごちそう準備】
 京風お雑煮セット(下準備まで)
 炊飯器deお煮しめ、黒豆、
 レーズン入りりんごきんとん

年始開催プログラム

■2021年1月2日（土）13:00-14:00

【お正月スイーツ】おせちの黒豆、おもちをリメイク！
 『バナナ黒豆パイ』と『おもちでもちもちドーナツ』
 ※事前準備として材料購入等が必要です。

タスカジブートキャンプ
 年々年始プログラム
 ②1月2日(土) 13:00～14:00
 【お正月スイーツ】
 おせちの黒豆、おもちをリメイク！
 『バナナ黒豆パイ』と
 『おもちでもちもちドーナツ』



タスカジブートキャンプ
 年々年始プログラム
 ③1月3日(日) 10:00～11:00
 【プロのリードで冬物衣類整理】
 短時間でカタをつける！
 「1軍選抜収納法」教えます★

■2021年1月3日（日）10:00-11:00

【プロのリードで冬物衣類整理】短時間で
 カタをつける！「1軍選抜収納法」教えます★

▼タスカジブートキャンプ詳細・お申込フォーム

<https://bootcamp.taskaji.jp/>

■タスカジのサービスについて (<https://taskaji.jp>)

多彩な家事スキルを活かして働くハウスキーパー（タスカジさん）と、家事をお願いしたい人とをつなぐ、シェアリングエコノミーの家事代行マッチングサービス。2014年のサービスリリース以来、一貫して家庭のあらゆる家事の課題解決をサポートしてきました。「家事代行は高価、家事は単純作業」という旧来型の家事意識の改革に挑戦し「コミュニティ循環型サービス運営モデル」の先駆けとなり、家事はクリエイティブな仕事であると発信し、証明し続けています。2020年12月、ビジョンを「自由な選択で、自分らしく生きることができる世界」に再定義し、「あたらしい家事文化をつくる（「核家族から拡大家族へ」家族の形を再定義、家事の知見を社会へ還元）」というミッションに向かって邁進しています。利用者数約75,000名、登録タスカジさん数約2,500名（2020年12月現在）。日経DUAL家事代行サービス企業ランキング2017 1位、日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018働き方改革サポート賞。

■株式会社タスカジについて

社名：株式会社タスカジ
 設立：2013年11月6日
 代表者：代表取締役 和田幸子
 所在地：東京都港区芝2-26-1 iSmartビル301
 事業内容：家事代行マッチングプラットフォーム「タスカジ」の運営
 URL：<https://corp.taskaji.jp>

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞
 株式会社タスカジ 広報担当：門出 万里子（もんでまりこ）
 Tel：080-7827-9202 E-mail：pr@taskaji.jp

【別紙 1】

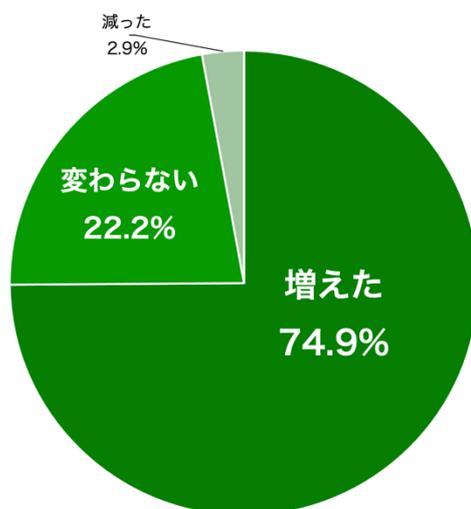
■詳細

(1) 新型コロナウイルス感染拡大前と比較して、各家庭の「家事の状況」について

(1-1) 新型コロナウイルス感染拡大前と比べての『在宅時間』



Q. 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、『在宅する時間』はどう変わりましたか？ (n=243)

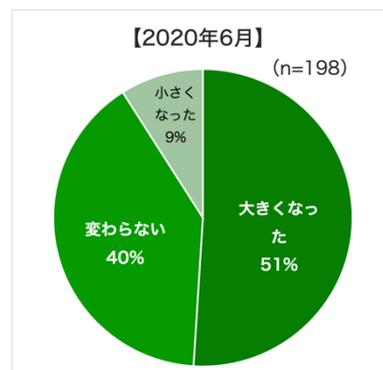
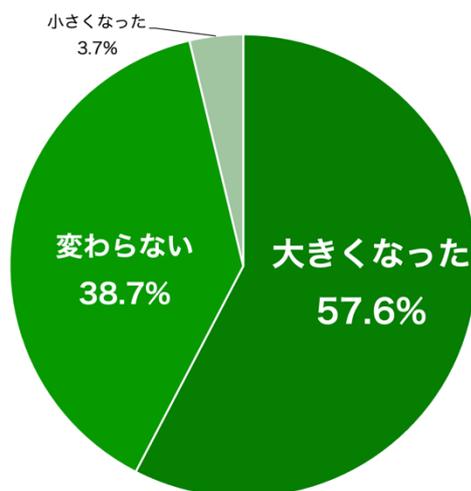


約 75%が「在宅する時間は増えた」と回答。依然として、イエナカ時間は多い。

(1-2) 現在の家事負担の度合い



Q. 「新型コロナウイルス感染拡大前」の日常と比べて、現在の『家事の負担』は大きくなったと感じますか？ (n=243)



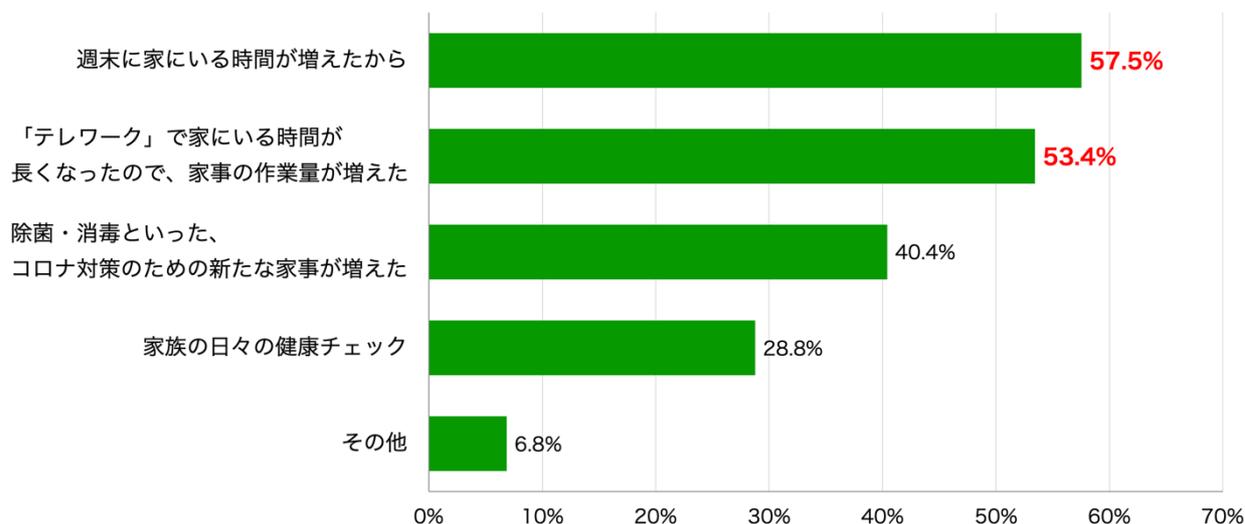
57.6%は、コロナ感染拡大前の日常と比べて、「家事負担は大きくなった」と回答。

また、2020年6月に実施した同様のアンケートと比べたところ、負担が大きくなったと感じている人は約7ポイント増加している。6月に比べて微増しているのは、(1-3) (1-4) の理由から見ても、コロナの長期化が影響していると考えられる。

(1-3) 家事負担が大きくなった理由



Q. 【「大きくなった」と答えた方】
 どのような理由で家事負担が増えたと感じるのでしょうか？
 (複数回答) (n=146)



(1-4) 家事負担が大きくなった理由 (自由回答) *一部抜粋

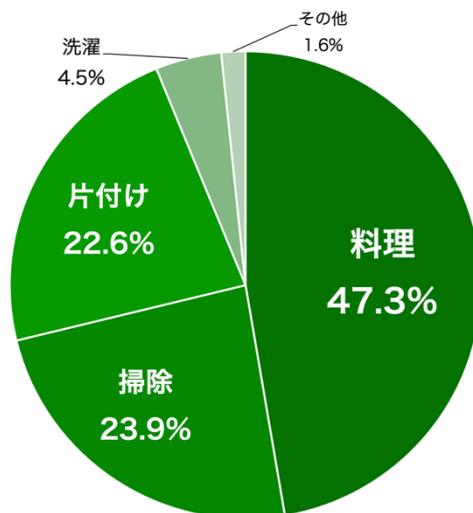
分野	負担が大きくなったと感じる理由 (一部抜粋)
料理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外食の機会が減り、家で食事をする回数が増えたから ・ 料理をする機会が増え、買い物も負担になっているから
掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自炊が増えたことにより、皿洗いとキッチン掃除の頻度が増した ・ 部屋の埃が増えたと感じるから
洗濯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出したら都度洗濯をするようになったので、洗濯物が増えた
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒などの感染予防対策 ・ 負担が増えたというよりは、在宅勤務で残業時間が増え、家事に充てられる時間が減った

57.5%が「週末に家にいる時間が増えたから」と回答。続いて、「テレワークで家にいる時間が長くなったので、家事の作業量が増えた」が53.4%。在宅時間が増えたことが、直接的に家事負担の増加にも繋がっていることがわかる。

(1-5) 特に負担を感じる家事



Q. 特にどんな家事が負担と感じますか？
(n=243)



(1-6) 特に負担と感じる具体的な家事内容 (自由回答) *一部抜粋

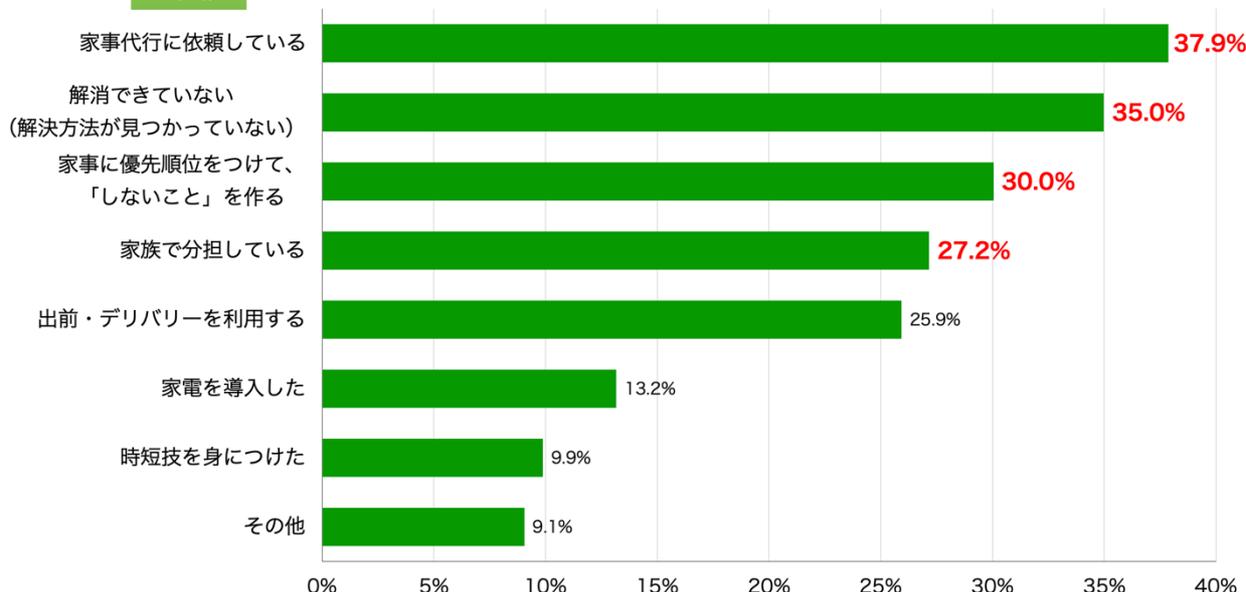
分野	具体的な内容 (一部抜粋)
料理	<ul style="list-style-type: none"> ・1日3食分の献立を考えること ・今までは外でそれぞれが食べていた昼食の準備 ・お弁当作り ・大人用の献立だけでなく、子供用の薄味の献立も別で考えること ・家でご飯を食べることが増えたので、料理はもちろん、買い出しや洗い物も負担
掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・いくら片付けても部屋が散らかる。埃が溜まりやすい ・細かい部分の汚れまで気になり、掃除にキリがない ・水回りの掃除 (トイレ掃除の数が倍増した) ・ガスコンロや換気扇の掃除
洗濯	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物を干す作業 ・洗濯物を畳んでしまう作業
片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・整理収納・断捨離をしたいが、どこから手をつければいいのか分からない ・在宅ワークが増え、仕事グッズが産卵するようになった ・人がいると散らかる。みんな片付けないから大変 ・子供の在宅時間が増えて、おもちゃの片付けの時間が増えた
その他	使用したものの除菌と漂白

特に負担を感じる家事としては、第1位は「料理」で47.3%、続いて「掃除」23.9%、「片付け」22.6%だった。料理に負担を感じる理由としては、自由回答で「昼食の準備」「料理回数が増えることによる買い物や洗い物が増えた」との回答が多数あった。

(1-7) 家事負担の解消方法



Q. 家事で負担に感じていることを、
どのように「解消」しようとしていますか？（複数回答）（n=243）



(1-8) 家事負担の解消方法（自由回答）*一部抜粋

分野	具体的な対策（一部抜粋）
料理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷凍キット、ミールキット、惣菜宅配の活用 ・ ネットスーパーを利用する ・ お店のテイクアウトを利用する ・ レシピサイトの閲覧
掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインの掃除教室の利用
片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中古品売買サイトやリサイクルショップを利用しての断捨離
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家事代行の利用 ・ 家事は休みの日にまとめてやる ・ 断捨離して、やること自体を減らす ・ とにかく心身ともに休養できる時に休養するよう心掛ける。

家事で負担に感じていることを現在どのように解消しているかの質問に対しては、**第1位は「家事代行に依頼している」**で37.9%、**第2位は「家事に優先順位をつけて『しないこと』を作る」**で30.0%、**第3位が「家族で分担している」**で27.2%だった。

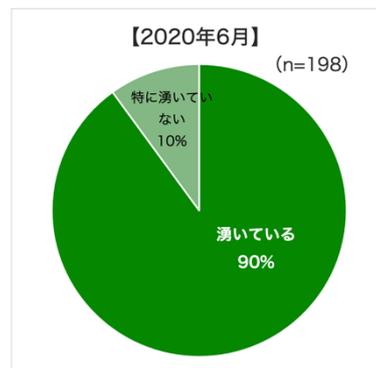
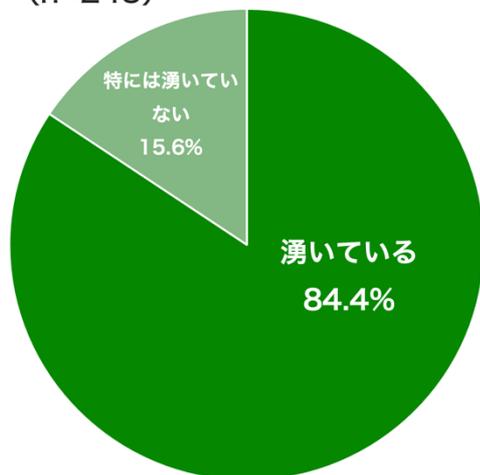
一方で、**35.0%もの人が「解消できていない（解決方法が見つからない）」**と回答。コロナ禍の家事負担が大きくなっている家庭が半数以上いる中で、さらに現在の状況が長期化すると、家庭の負担や疲労は大変大きいものになっていくと考えられる。

(2) 家の環境について

(2-1) 家の環境についての意識



Q. 2020年の「イエナカ時間」を通して、現在、自分の家の中をもっといい環境にしたいという思いが湧いていますか？
(n=243)

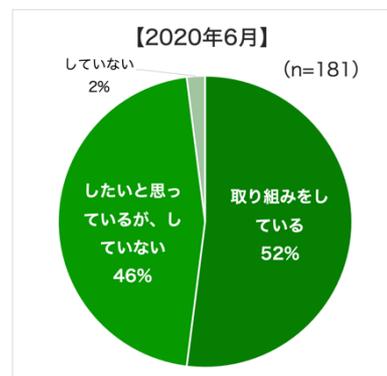
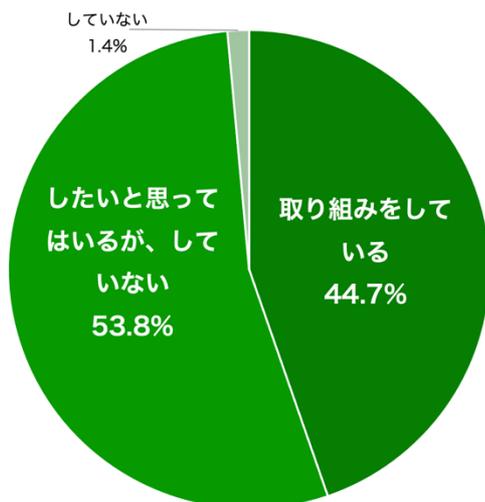


依然として、84.4%の人が「イエナカ時間を通して、現在自分の家の中をもっといい環境にしたいという思いが湧いている」と回答。

(2-2) 家の中をもっといい環境にするための取り組みについて



Q. 「湧いている」と答えた方にお聞きします。現在は、家の中をもっといい環境にするための取り組みをしていますか？ (n=208)



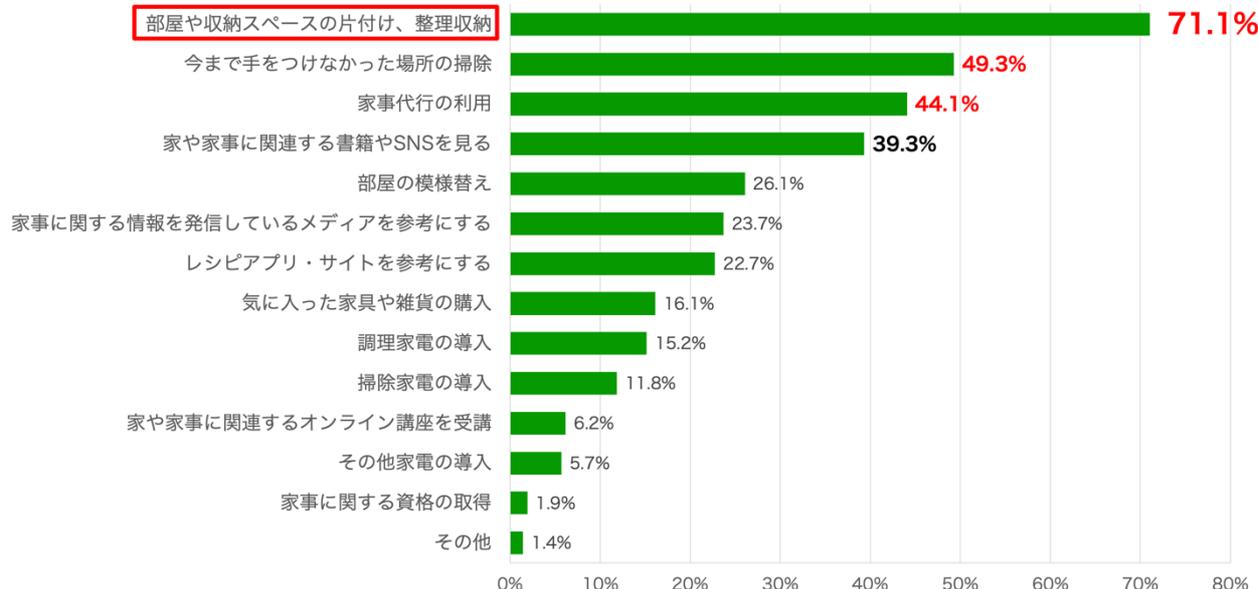
約 99%もの人が、「家の中をもっといい環境にするための取り組み」に興味をもっており、その中の 44.7%の人が心地よい生活を送るために、実際に取り組みを実践している。

6月時と比較すると、今回の「取り組みをしている」の回答は約7ポイント下がった。原因の一つとして、在宅時間は長いままとはいえ、仕事や日常生活が忙しくなり、心地よい生活環境を求めているもなかなか着手できない人が増えていると推測する。

(2-3) 家の中をもっといい環境にするためにしていること



Q. 【「取り組みをしている」「したいと思ってはいるが、していない」と答えた方】
家の中の環境をよくするために、現在取り組んでいること、興味がある・気になっていることなどがあれば教えてください。（複数回答可）（n=211）



(2-4) 家の中をもっといい環境にするためにしていること（自由回答）*一部抜粋

分野	興味がある・気になっていること（一部抜粋）
料理	・ミールキット、オンラインスーパーの利用
掃除	・片付け関連の記事がある雑誌を買い、参考にしながら各所の掃除をする（SNSも時短掃除の参考にしている） ・カビの除去
片付け	・片付けの本・YouTube・SNS・WEBサイトなどをチェック&実践 ・整理をしやすくするため、いらないものを断捨離する ・物を取り出しやすくするような整理収納法の実践 ・ミニマリズムを実践 ・部屋の壁紙の張り替え、模様替え ・トランクルームを借りて、活用
オンライン講座・資格・コミュニティ	・整理収納オンラインセミナー、家事に関係したオンラインサロンなどへの参加 ・ライフオーガナイザー資格の取得 ・SNSで料理のレシピ、掃除の方法についての投稿をチェックする
家具・家電	電気圧力鍋、食洗機、“ほったらかし家電”、収納ケース、テレワーク用の机
家事代行	・精神的な負担を軽減するために、家事代行の利用 ・家事代行でアドバイスしてもらった整理収納法を実践
その他	・動画配信サービスの契約 ・DIYで家具をカスタマイズする ・フリマアプリの利用

家の中の環境をより良くするために取り組んでいること・興味があることとして、**第1位は「部屋や収納スペースの片付け・整理収納」で71.1%**。続いて2位は「今まで手をつけなかった場所の掃除」で49.3%、3位は「家事代行の利用」で44.1%、4位は「家や家事に関連する書籍やSNSを見る」で39.3%だった。このイエナカ時間を通して、**家の中の環境を良くするために取り組みたいことが、より明確になってきている人が増えている**と推測する。

具体的内容としても整理収納関連のコメントは多く、また、掃除・片付けは、本・SNS・You Tube・WEBサイトなど、さまざまな情報をチェックして実践する人が多く見られた。

（2-5）家の中の環境を良くするために取り組んでいることで、「他の人にぜひおすすめしたいこと・モノ」があれば教えてください（自由回答）*一部抜粋

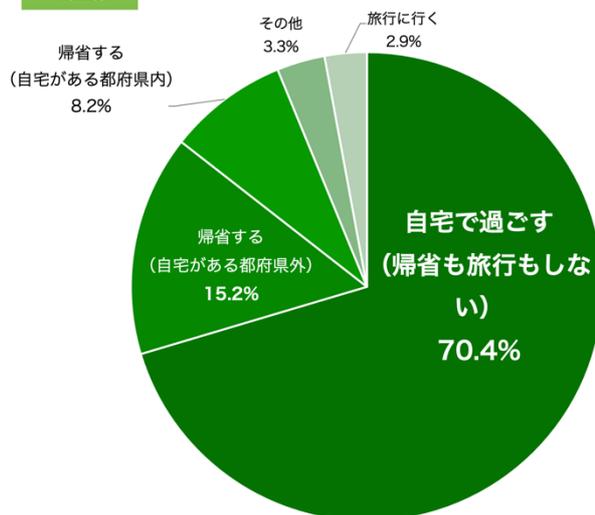
分野	他の人におすすめしたいコト・モノ（一部抜粋）
料理	<ul style="list-style-type: none"> ・ミールキット ・レシピサイトや、SNSで料理を検索してレパートリーを増やす
掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・朝イチでリビングを掃除する
片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・断捨離 ・布団の圧縮袋
オンライン講座・資格・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・整理収納オンラインセミナー、家事に関係したオンラインサロンなどへの参加 ・ライフオーガナイザー資格の取得 ・SNSで料理のレシピ、掃除の方法についての投稿をチェックする
家具・家電	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット掃除機 ・食器洗浄機 ・ガス衣類乾燥機
家事代行	<ul style="list-style-type: none"> ・家事代行の利用
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマディフューザー ・お母さんがハッピーでいること

(3) 年末年始の過ごし方について

(3-1) 今年の年末年始の予定



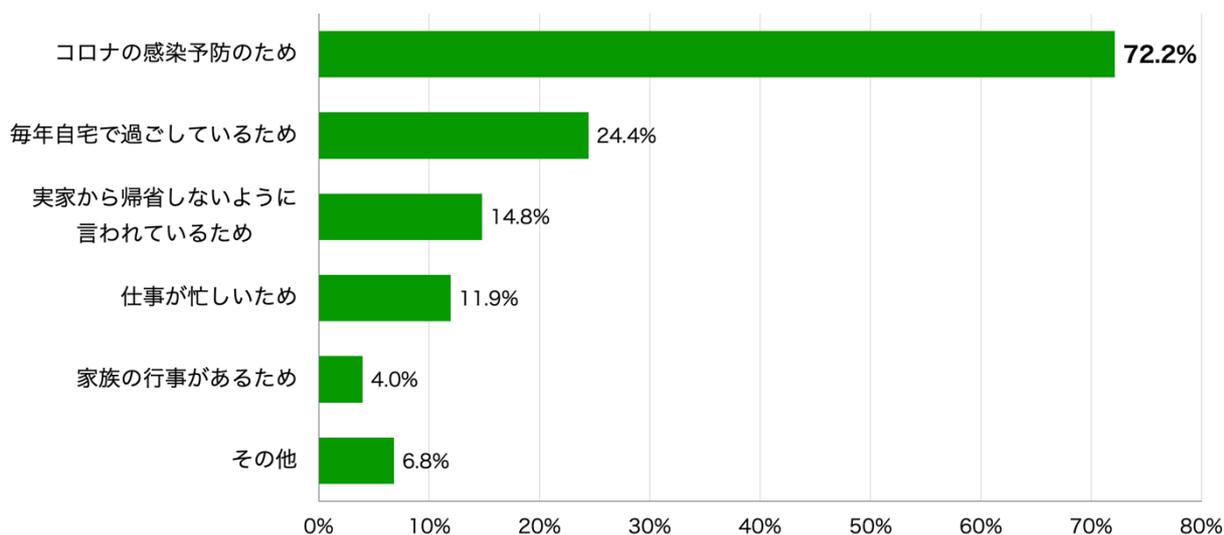
Q. 今年の年末年始は、どのように過ごす予定ですか？ (n=243)



(3-2) 今年の年末年始の過ごし方の理由



Q. 【年末年始を自宅で過ごす】予定の方に質問です。その理由を教えてください。(複数回答) (n=176)



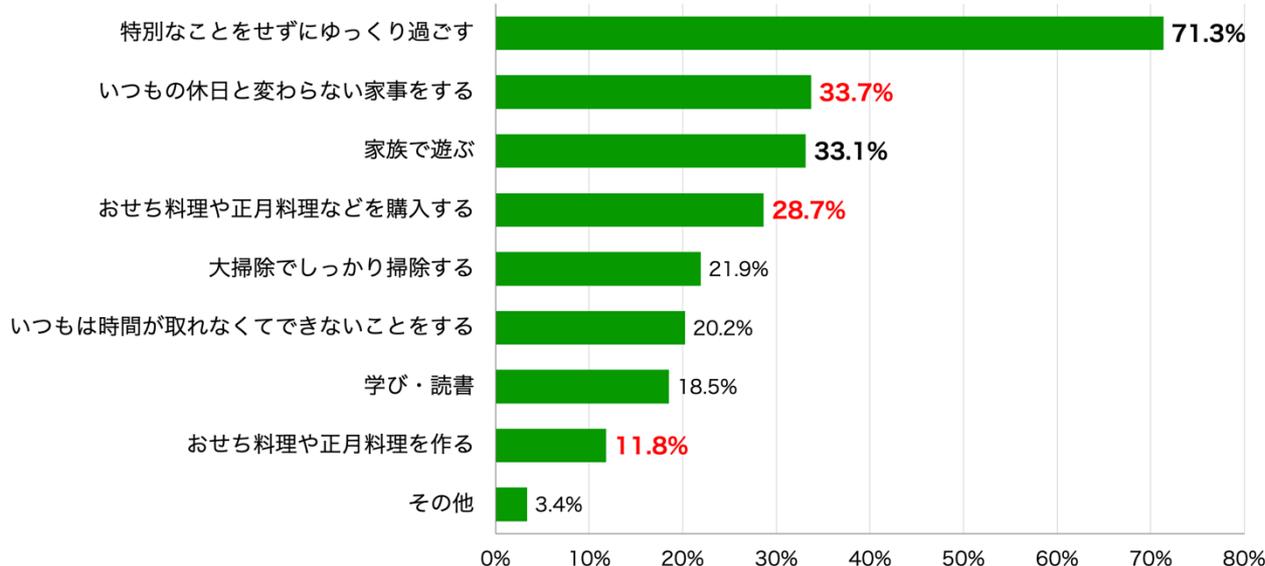
2020年-2021年の年末年始の過ごし方は、「自宅で過ごす」と回答した人が70.4%（2020年12月前半時点）。そのうちの72.2%は「コロナ感染予防のため」と回答。

この12月でコロナ感染者がさらに増えている現状より、予定変更して自宅で過ごすことにした人も増えていると推測される。

(3-3) 年末年始にしたいこと



Q. 【年末年始を自宅で過ごす】予定の方に質問です。
 今年の年末年始は、自宅でどんなことをする予定ですか。
 (複数回答) (n=178)



(3-1) で年末年始は自宅にいる予定の人の過ごし方としては、「特別なことをせずゆっくり過ごす」人が71.3%。また、「いつもの休日と変わらない家事をする」が33.7%、「家族で遊ぶ」が33.1%だった。

また、「おせち料理や正月料理などを購入する」が28.7%、「おせち料理や正月料理を作る」が11.8%と、自宅で正月を迎えるための準備をするという回答や、片付け・整理収納の回答も多く見られた。

「いつもは時間が取れなくてできないこと」の具体例としては、

・整理収納（クローゼット）や断捨離

- ・大掃除
- ・料理
- ・仕事
- ・動画配信サービスの視聴、ゲーム
- ・運動、ストレッチなど体のケア

などがあがった。

(4) 心境の変化について

(4-1) 現在感じている、ライフスタイル・ワークスタイルの変化による心境の変化などがあれば教えてください (自由回答) *一部抜粋

分野	具体的な内容
時間の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務が増加したことで通勤時間にあてていた時間や昼休みなどを利用して家事がしやすくなった。 ・仕事の負担が増え、できない家事などは外注するなどしている。かなり楽になったので、時間をお金で買うことの価値を感じるようになっていく
掃除・片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・整理収納や断捨離を積極的に行い、仕事効率を上げていきたい ・在宅の時間が増えたことで、今まで見て見ぬふりをしてきた散らかりや汚れも目に入るようになった。いつもキレイな状態を保てるようにしたい。
働き方・暮らし方	<ul style="list-style-type: none"> ・家は落ち着くし、子どもとの時間が増えるので、在宅勤務を適度に取り入れていきたい。 ・いらない物をそぎ落とし、シンプルな暮らしをしたい ・運動不足や在宅太りが気になっている
課題・不安に思っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染の懸念から、外出することへも、外出を控えることへもストレスを感じてしまう。 ・家にいることで、プライベートと仕事の境目があやふやになっている ・家事負担が増えた一方で、ずっと在宅なので、家事代行などが心象的に使いづらい

< 調査概要 >

- 調査名：2020年12月家事的状況・イェナカ時間に関する実態調査 (タスカジ研究所調べ)
- 実査時期：2020年12月4日(金)～2020年12月7日(月)
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：タスカジユーザー 20～80代の男女
- 回答者数：243名

< 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先 >
 株式会社タスカジ 広報担当：門出 万里子 (もんでまりこ)
 Tel : 080-7827-9202 E-mail : pr@taskaji.jp